

◇出題傾向

- A 歴史的仮名遣い
 B 人物・動作主・会話文指摘…古文では主語の省略が多いので、動作主が問われます。
 C 口語訳…文脈にふさわしい古文の正確な理解が問われます。
 D 返り点…漢文を、返り点に従って読むことが問われます。
 E 主題…文章を通して作者が最も伝えたいことが問われます。

◇出題パターン1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(……の左側は口語訳です。)

劉寛饒は、その生まれつき、非常にいたりて柔和なり。つひに怒れる色を

面おもてにあらはさず。ある時車に乗りて参内せられるけるに、人ありて、

牛を取り離して探ねありく。寛饒イに行きあひて、「この車に付き給たまふ

牛は、わが牛なり。」といふ。寛饒、是非のことをいはず、牛を解きて、

この者に与あたへられたり。後に日を経て、取り逃がしたる牛、もとの家

にかへりきたる。その人恥はづかしきことかぎりなくて、寛饒の牛を返

し、「それがし、卒爾そつじなることを申しかけたり。いかやうにも罪におこ

なひ給へ。」といひければ、寛饒のいはく、物見るに、相似あひにたること

ありて、見損ずるは常のならひなり。いかでか恥におこなはんとて、

牛をばとどめて、その人をば工帰されけり。(『堪忍記』による。)

問1 ① あらはさず とありますが、この部分を「現代仮名遣い」に直し、ひらがなで書きなさい。

↓ 出題傾向 A

問2 与②へられたり とありますが、これと同じ動作主のものを、本文中の~~~~線ア〜エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

↓ 出題傾向 B

問3 恥③づかしきことかぎりなくて とありますが、この部分の口語訳として最も適切なものを、次のア〜エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 恥はづかしさを感じなくて イ 恥はづかしくてたまらなくて
 ウ 急に恥はづかしくなって エ 少し恥はづかしくなって

↓ 出題傾向 C

◇解法

問1 語頭以外の「ハ」行は「ワ」行に直す。

問2 省略されている動作主をとらえる。

問3 「かぎりなし」は「この上もない」「はなはだしい」という意味。

◇出題パターン2 次の漢文と書き下し文を読んで、あとの問いに答えなさい。

務^{メテ}言^ヲ而^レ緩^{クスレバ}行^{ヒテ}雖^モ弁^ズ必^ズ不^ズ聴^{カレ}。
 ※多^{ニシテ}力^ニ而^レ伐^レ功^ニ雖^モ勞^{スト}必^ズ不^ズ凶^{ラレ}。
 ※慧^イ者^{シヤハ}心^ニ弁^{ジテ}而^レ不^ズ繁^セ說^セ多^{ニシテ}力^ニ而^レ不^ズ伐^ラ功^ニ此^{コレヲ}以^{モツテ}名^ハ譽^ガ揚^{ガル}天^ニ下^ニ。

〔墨子〕による。

〔書き下し文〕

言を務めて行ひを緩くすれば、弁すと雖も必ず聴かれず。多力にして功に伐れば、勞すと雖も必ず凶られず。慧者は心に弁じて繁説せず、多力にして功に伐らず、此を以て

- 〔注〕
- ※雖く……として。
 - ※弁……多く語る。
 - ※多力……才能がある。
 - ※伐……誇る。
 - ※功……功績。
 - ※不凶……とりあげられない。
 - ※慧者……賢い人。
 - ※繁説……口うるさく説く。

問1 雖^① 弁 必 不 聴。とありますが、この意味として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 何も言わなくてもわかってもらえる。
- イ 真剣に語らなければきいてもらえない。
- ウ 多くを語るときいてもらえる。
- エ 多くを語ってもきいてもらえない。

↓ 出題傾向 C

問2 名 譽 揚 天 下。を書き下し文に直して書きなさい。

↓ 出題傾向 D

問3 筆者は、「慧者」とはどのような人だと考えていますか。最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 不平不満を言わず、他人の功績をねたまない人。
- イ 心の中で思っても多くを語らず、自分の功績を誇らない人。
- ウ 自分の意見を主張せず、他人の言うことを素直に聞く人。
- エ だれに対しても心を開き、他人の功績をたたえる人。

↓ 出題傾向 E

◇解法

問1 「不」は打ち消しを表す。レ点があるので「不聴」は「聴かれず」と読み、「きかれない」の意味になる。

問2 一・二点は「一までを先に読み二に戻る」という記号。ここでは「天下」を先に読んでから「揚」に戻って読む。

問3 「慧者」について書かれている部分の内容をとらえる。

練習問題

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

やまと歌は、人の心を種として、よろづの言の葉とぞなれりける。世の中にある人、ことわざしげきものなれば、心に思ふことを、見るもの聞くものにつけて、言ひ出だせるなり。花に鳴くうぐひす、水に住むかはづの声を聞けば、生きとし生けるもの、いづれか歌をよまざりける。
(紀貫之著『古今和歌集 仮名序』による。)

問1 よろづの とありますが、この部分を「現代仮名遣い」に直し、ひらがなで書きなさい。

問2 生きとし生けるもの とありますが、この例として、「人」のほかに挙げられているものを、本文中から二つ書き抜きなさい。

問3 いづれか歌をよまざりける。 の意味として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 何一つとして歌をよまないものだ。
- イ 何一つとして歌をよまないものはないのだ。
- ウ 中には歌をよまないものもあるだろう。
- エ 中には歌をよむものもあるだろう。

問4 紀貫之の作品を、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 竹取物語
- イ 徒然草
- ウ 土佐日記
- エ 平家物語

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(……の左側は口語訳です。)

除目のころなど内裏わたりいとをかし。雪降りいみじう氷りたるに、
官吏の任命式 官中のあたり
 申し文もてありく。四位・五位、若やかにこちよげなるは、いとた
任官申請書 意気揚々としている申請者たちは

のもしげなり。老いてかしら白きなどが、人に案内言ひ、女房のつば
推薦の取り次ぎを頼み 女官 部屋
 ねなどに寄りて、おのが身のかしこきよしなど、心ひとつをやりて説
一生懸命に
 き聞かするを、若き人々はまねをし笑へど、いかでか知らむ。
(注) 四位・五位……官吏の位階。 女官たち 「枕草子」による。

問1 まねをし笑へど とありますが、この部分を「現代仮名遣い」に直し、ひらがなで書きなさい。

問2 作者の心情を表した言葉を本文中から探し、三字で書き抜きなさい。

問3 いかでか知らむ。 とありますが、だれのことを言っているのですか。最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 若やかにこちよげなる
- イ 老いてかしら白き
- ウ 若き人々
- エ 作者

問4 この文章の作者名を漢字で書きなさい。

3 次は、「仏」について問答をしている文章です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。(……の左側は口語訳です。)

八つになりし年、父に問ひていはく、「仏はいかなるものにか候ふらむ。」といふ。父がいはく、「仏には人のなりたるなり。」と。また問ふ、「人はいかなるものにか候ふやらむ。」と。父また「仏の教へによりてなるなり。」と答ふ。また問ふ、「教へ候ひける仏をば、何が教へ候ひける。」と。また答ふ、「それもまたさきの仏の教へによりてなりたまふなり。」と。また問ふ、「その教へはじめ候ひける第一の仏は、いかなる仏にか候ひける。」といふ時、父「空よりや降りけむ、土よりやわきけむ。」といひて笑ふ。「問ひつめられてえ答へずなりはべりつ。」と諸人に語りて興じき。

問1 いはく とありますが、この部分を「現代仮名遣い」に直し、ひらがなで書きなさい。

問2 興じき。 とありますが、だれが「興じた」のですか。最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 作者 イ 父 ウ 仏 エ 諸人

問3 子供のころの作者が初めに知りたかったのは、どのようなことですか。簡潔に書きなさい。

4 次は、「待ちぼうけ」という童謡のもととなった故事が書かれた文章とその口語訳です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

宋人(そうじん)に田(でん)を耕(かう)す者(もの)有り。田(でん)中に株(くわ)有り。兔(うさぎ)走りて株(くわ)に触(ふ)れ、頸(くび)を折りて死(し)す。因(よ)りて其(その)耒(すき)を釈(す)てて株(くわ)を守(まも)り、冀(き)復(た)得(え)る。兔(うさぎ)復(た)得(え)べからずして、身(み)は宋(そう)国(こく)の笑(わら)ひと為(な)れり。(「韓非子(かんびし)」による。)

宋(そう)の国(こく)の人(ひと)で田(でん)を耕(かう)す人(ひと)がいた。田(でん)の中(なか)に切り株(くわ)があつた。兔(うさぎ)が走(は)つてその株(くわ)に当(あた)り、首(くび)を折(よ)つて死(し)んだ。それがきつかけでその人(ひと)は耒(すき)を捨てて、また兔(うさぎ)が手(て)に入(い)れることを願(ねが)つた。兔(うさぎ)は二度(にど)と手(て)に入(い)れることはできず、

問1 株(くわ)を守(まも)り とありますが、どういう意味(いみ)ですか。最も適切(てき)なもの(もの)を次のア～エの中(なか)から一つ(ひとつ)選(え)び、その記号(きごう)を書きなさい。

ア 切り株(くわ)を見張(み)り イ 切り株(くわ)に囲(かこ)いをつけ
ウ 切り株(くわ)の周(まわ)りを耕(かう)し エ 切り株(くわ)を傷(や)つけないようにし

問2 冀(き)復(た)得(え)る。 兔(うさぎ) の書き下し文(ぶん)が「復(た)得(え)る兔(うさぎ)を得(え)んことを冀(き)ふ」となるように返(かへ)り点(てん)を補(おぎ)うとき、最も適切(てき)なもの(もの)を次のア～エの中(なか)から一つ(ひとつ)選(え)び、その記号(きごう)を書きなさい。

ア 冀(き)復(た)得(え)る 兔(うさぎ) イ 冀(き)復(た)得(え)る 兔(うさぎ)
ウ 冀(き)復(た)得(え)る 兔(うさぎ) エ 冀(き)復(た)得(え)る 兔(うさぎ)

問3 身(み)は宋(そう)国(こく)の笑(わら)ひと為(な)れり。 とありますが、どう(どう)いう意味(いみ)ですか。主語(しよご)を明確(めいせつ)にして、「だれ(だれ)がどう(どう)なつた(な)か」を書きなさい。